



山岳部です。8月7日から8月11日にかけて、北海道東川町を拠点に北海道インターハイに出場します。普段の練習の成果を存分に発揮するため、全力で頑張ります。皆様の温かいご声援をよろしくお願い致します。

北海道十勝岳連峰・大雪山系に挑む

今大会のコースについてです。最初に足を踏み入れる十勝岳連峰は、十勝岳(2,077m)を中心に南西から北東まで11kmほどの山々が続きます。十勝岳の火口などでは噴煙があがり、壮大な火山活動を感じることができます。続いて北海道の屋根と呼ばれる大雪山系では黒岳(1,984m)、北鎮岳(2,244m)に挑みます。高山植物に迎えられ、北海道にしか存在しない動植物にも会えるかもしれません。夏でもかなりの確率で残る大雪渓を渡り、一面の広大な美しいお花畑に心癒されるでしょう。最後に北海道最高峰の旭岳(2,290.9m)に登ります。左手に噴煙を上げる地獄谷を見ながら厳しい自然の姿を見ることが出来ます。地元の山とは違う雰囲気を経験してきてほしいと思います。

出場メンバーからの意気込みです。

今回の北海道インターハイは県大会よりも日程が長く、さらに険しい道のりを登っていくことになりますが、仲間たちと協力し合って、ミスがあっても助け合いながら良い結果が残せるように頑張っていきたいです。また、北海道の山は鳥取の山とはかなり違った景色が広がっているので、山を楽しむことを忘れずに、楽しんで大会に挑んでいきたいです。

インターハイ本番まで残り一か月を切りました。今自分が置かれている状況を、日々強く実感しています。プレッシャーに押しつぶされそうになることもありますが、家族、部員や顧問の先生などのチームメンバーに支えられました。大会での経験はこれからの自分にとって大きな力になっていくと確信しています。そのために対策をしっかり行い、最後まで戦い抜くことを、ここに誓います。

私達はインターハイに向けて4月から本気で練習に取り組んできました。テスト週間でも、午前授業でも夕方までインターハイの準備に取り組み、部活がオフの日にも遅れている部分の準備を自分で進められました。ここまで頑張ってきたのは私達のために毎週登山計画を立て、送迎してくれた先生方や、必要なものをすぐに用意してくれた保護者方、インターハイに行くにあたり応援してくださった皆様のおかげです。私達はインターハイ優勝できるように本気で挑んでくるので応援よろしくお願いします。

今年は全力で大会に挑むため、去年以上に普段の練習や準備を頑張ってきました。特に準備に関しては1か月前からすすめており入念なチェックをしながら計画書の作成をしてきました。インターハイでは好成績を狙いながら悔いの残らないよう頑張っていきたいと思います。



行事予定 ・1学期終業式 7月24日(月)

・2学期始業式 8月28日(月)

各種大会 ・ものづくり測量部門県大会(本校) 7月25日(火)

・ボート世界ジュニア選手権大会(パリ) 7月27日(木)～8月5日(土)

・全国高等学校総合文化祭美術・工芸(鹿児島) 7月29日(土)～7月31日(月)



米工 HP